

岡山県の景気観測調査

(平成26年1～3月期実績)

平成26年4月21日

岡山県商工会議所連合会

- 1. 調査方法** FAXによるアンケート
- 2. 調査内容** 景況のほか、生産額・売上額など10項目
①平成26年1～3月期を前年同期と比較
②平成26年4～6月期の先行き見通しを平成26年1～3月期と比較
- 3. 調査時期** 3月下旬
- 4. 調査対象** 県下商工会議所会員企業589社
- 5. 有効回答数** 569社 (回収率96.6%)
- | | | | | |
|-------|------|------------|------------|-------------|
| 製造業 | 197社 | 食料品30社 | 繊維関連35社 | 紙・印刷・出版21社 |
| | | 機械金属34社 | 電気・精密機械13社 | 鉱業・窯業・土石10社 |
| | | 輸送用機械器具16社 | その他38社 | |
| 建設業 | 83社 | | | |
| 卸売業 | 76社 | | | |
| 小売業 | 102社 | | | |
| サービス業 | 111社 | | | |
- 6. 調査開始時期** 平成10年12月
- 7. DI(ディフュージョン・インデックス)方式**
DIは各調査項目について判断の状況を示す。
ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向(「良い」)の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向(「悪い」)の回答割合が多いことを示す。
 $DI = (\text{増加・好転など「良い」の回答割合}) - (\text{減少・悪化など「悪い」の回答割合})$

- 8. 問い合わせ先** 岡山県商工会議所連合会 TEL(086)232-2262

岡山商工会議所	総務・企画部	TEL(086)232-2262
倉敷商工会議所	産業振興課	TEL(086)424-2111
玉島商工会議所	指導課	TEL(086)526-0131
児島商工会議所	総務課	TEL(086)472-4450
津山商工会議所	企業振興課	TEL(0868)22-3141
玉野商工会議所	中小企業相談所	TEL(0863)33-5010
笠岡商工会議所	指導課	TEL(0865)63-1151
井原商工会議所	業務課	TEL(0866)62-0420
備前商工会議所	中小企業振興部	TEL(0869)64-2885
高梁商工会議所	総務課	TEL(0866)22-2091
総社商工会議所	総務課	TEL(0866)92-1122
新見商工会議所	指導課	TEL(0867)72-2139

平成26年1～3月期「景況概要」

「景況は駆け込み需要を背景に改善。先行きは消費増税の影響を懸念」

景況全体では、DI値が3期連続で改善し、▲2.0と調査開始以来の最高値となった。業種別では、製造業、卸売業、小売業で最高値を記録。項目別においては、生産額・売上額、受注額、資金繰り、採算（収益）、従業員（常用）の5項目において、DI値が最高値となった。しかし、先行き見通しDIは前回調査時と比べ19.1ポイントマイナス幅が拡大しており、駆け込み需要の反動が懸念される。

1. 景況

総合DI（好転－悪化）は▲2.0と10～12月期に比べ6.4ポイントマイナス幅が縮小した。業種別では、製造業でマイナスからプラスへ転換、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業でプラス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大した。

2. 生産額・売上額

総合DI（増加－減少）は7.1と10～12月期に比べ8.8ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大、卸売業、小売業でマイナスからプラスへ転換、サービス業でマイナスで横ばいであった。

3. 受注額

総合DI（増加－減少）は7.5と10～12月期に比べ0.4ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業でプラスからマイナスへ転換した。

4. 原材料・商品仕入価格

総合DI（下降－上昇）は▲40.6と10～12月期に比べ0.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

5. 製品・商品販売価格

総合DI（上昇－下降）は2.1と10～12月期に比べ1.7ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でマイナスからプラスへ転換、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業でプラス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大した。

6. 製品在庫・商品在庫

総合DI（減少－増加）は1.5と10～12月期に比べ1.5ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大し、製造業でマイナス幅が縮小した。

7. 資金繰り

総合DI（好転－悪化）は▲9.9と10～12月期に比べ4.7ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、全業種でマイナス幅が縮小した。

8. 採算（収益）

総合DI（好転－悪化）は▲10.8と10～12月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、全業種でマイナス幅が縮小した。

9. 従業員（常用）

総合DI（不足－過剰）は11.2と10～12月期に比べ2.7ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロで横ばいであった。しかし、小売業でプラスからマイナスへ転換した。

10. 従業員（臨時）

総合DI（不足－過剰）は11.9と10～12月期に比べ2.3ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、卸売業でプラス幅が拡大、サービス業でプラスで横ばいであった。しかし、建設業、小売業ではプラス幅が縮小した。

1. 景況

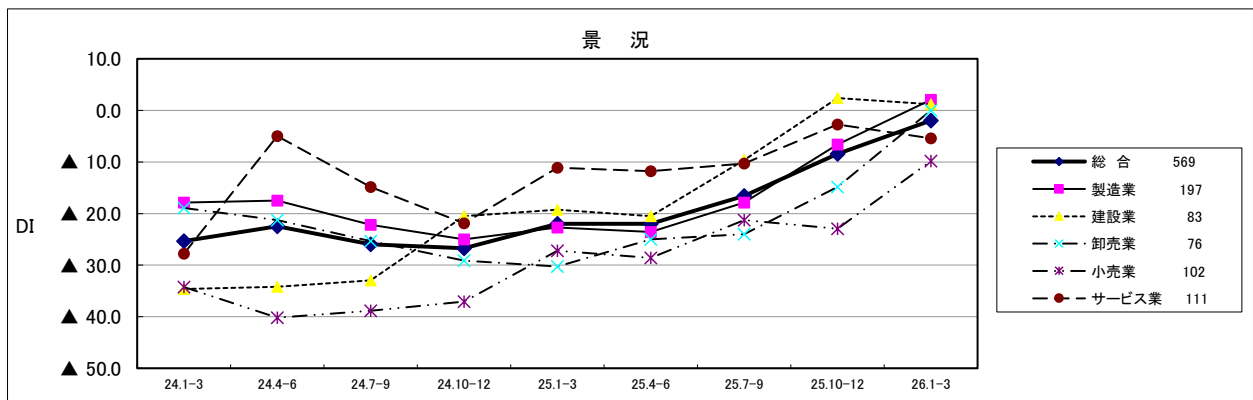
(1) 全体

総合D I (好転-悪化) は▲2. 0と10~12月期に比べ6. 4ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、製造業でマイナスからプラスへ転換、卸売業でマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、小売業でマイナス幅が縮小した。しかし、建設業でプラス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大した。

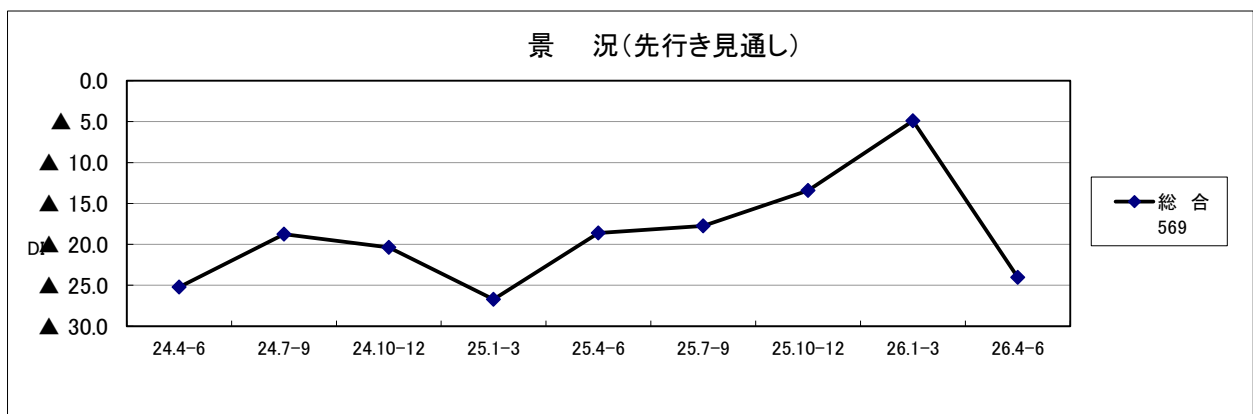
平成26年4~6月期の先行き見通し総合D Iは▲24. 0(前回調査時の先行き見通し総合D I ▲4. 9)となり、マイナス幅が拡大する見通し。

景況		24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	569	▲25.4	▲22.4	▲25.9	▲26.7	▲22.0	▲22.0	▲16.6	▲8.4	▲2.0
製造業	197	▲17.9	▲17.5	▲22.2	▲25.0	▲22.7	▲23.6	▲17.9	▲6.6	2.1
建設業	83	▲34.6	▲34.2	▲32.9	▲20.5	▲19.3	▲20.5	▲9.6	2.4	1.2
卸売業	76	▲18.9	▲21.3	▲25.3	▲29.1	▲30.3	▲25.0	▲24.0	▲14.9	0.0
小売業	102	▲34.3	▲40.2	▲38.8	▲37.0	▲27.2	▲28.6	▲21.3	▲22.9	▲9.8
サービス業	111	▲27.8	▲5.0	▲14.9	▲21.9	▲11.1	▲11.8	▲10.3	▲2.8	▲5.4



<参考> 先行き見通し

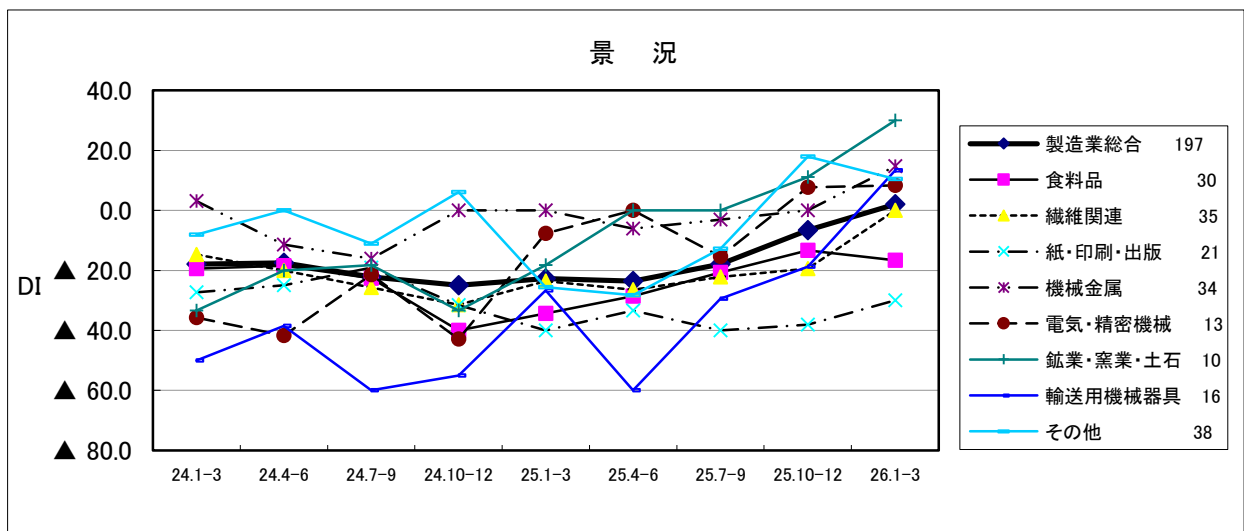
先行き見通し		24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3	26.4-6
総合	569	▲25.2	▲18.8	▲20.4	▲26.7	▲18.6	▲17.7	▲13.4	▲4.9	▲24.0



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、機械金属ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅を縮小させた。しかし、その他ではプラス幅が縮小、食料品ではマイナス幅が拡大した。

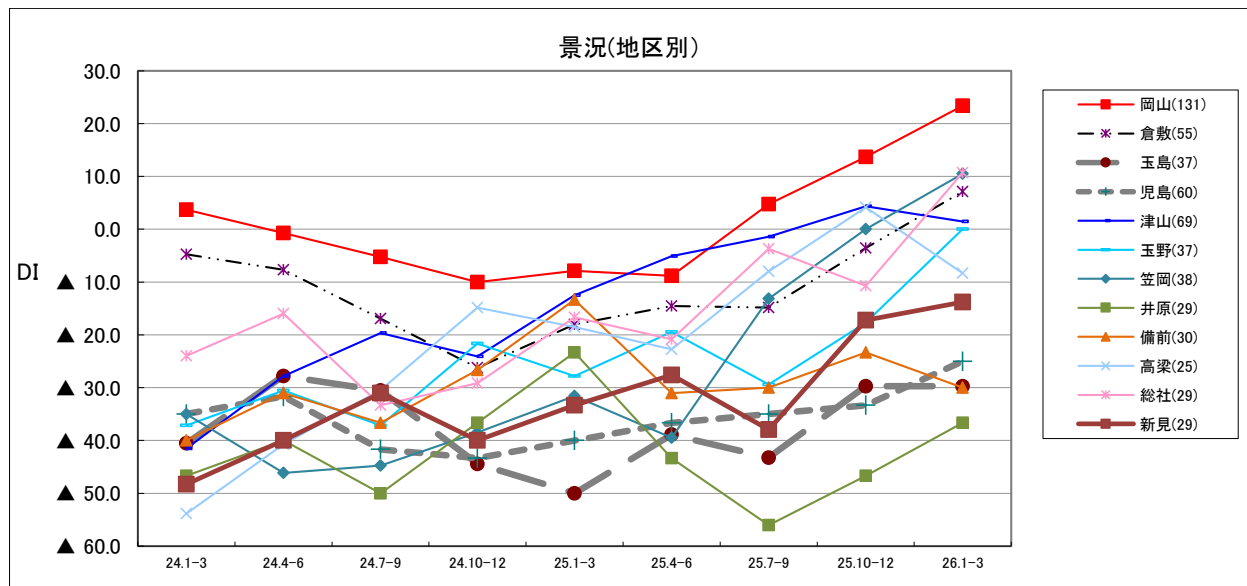
景況		24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	197	▲ 17.9	▲ 17.5	▲ 22.2	▲ 25.0	▲ 22.7	▲ 23.6	▲ 17.9	▲ 6.6	2.1
食料品	30	▲ 19.4	▲ 18.4	▲ 22.6	▲ 40.0	▲ 34.4	▲ 28.6	▲ 20.7	▲ 13.3	▲ 16.7
繊維関連	35	▲ 14.7	▲ 20.0	▲ 25.7	▲ 31.4	▲ 23.5	▲ 26.5	▲ 22.2	▲ 19.4	0.0
紙・印刷・出版	21	▲ 27.3	▲ 25.0	▲ 19.0	▲ 31.6	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 40.0	▲ 38.1	▲ 30.0
機械金属	34	3.1	▲ 11.4	▲ 16.1	0.0	0.0	▲ 6.1	▲ 3.1	0.0	14.7
電気・精密機械	13	▲ 35.7	▲ 41.7	▲ 21.4	▲ 42.9	▲ 7.7	0.0	▲ 15.4	7.7	8.3
鉱業・窯業・土石	10	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 33.3	▲ 18.2	0.0	0.0	11.1	30.0
輸送用機械器具	16	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 29.4	▲ 18.8	13.3
その他	38	▲ 8.1	0.0	▲ 11.1	6.1	▲ 25.6	▲ 28.2	▲ 12.8	17.9	10.5



<参考>地区別

岡山ではプラス幅が拡大、笠岡ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、倉敷、総社ではマイナスからプラスへ転換、玉野ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、児島、井原、新見ではマイナス幅が縮小、玉島ではマイナスで横ばいであった。しかし、津山ではプラス幅が縮小、高梁ではプラスからマイナスへ転換、備前ではマイナス幅が拡大した。

景況(地区別)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
岡山(131)	3.7	▲ 0.7	▲ 5.3	▲ 10.0	▲ 7.9	▲ 8.8	4.8	13.7	23.4
倉敷(55)	▲ 4.8	▲ 7.7	▲ 16.9	▲ 26.2	▲ 18.0	▲ 14.5	▲ 14.8	▲ 3.6	7.1
玉島(37)	▲ 40.5	▲ 27.8	▲ 30.6	▲ 44.4	▲ 50.0	▲ 38.9	▲ 43.2	▲ 29.7	▲ 29.7
児島(60)	▲ 35.0	▲ 31.7	▲ 41.7	▲ 43.3	▲ 40.0	▲ 36.7	▲ 35.0	▲ 33.3	▲ 25.0
津山(69)	▲ 41.5	▲ 27.8	▲ 19.6	▲ 24.1	▲ 12.5	▲ 5.1	▲ 1.4	4.3	1.4
玉野(37)	▲ 37.1	▲ 30.6	▲ 37.1	▲ 21.6	▲ 27.8	▲ 19.4	▲ 29.4	▲ 17.6	0.0
笠岡(38)	▲ 35.0	▲ 46.2	▲ 44.7	▲ 38.5	▲ 31.6	▲ 39.5	▲ 13.2	0.0	10.5
井原(29)	▲ 46.7	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 36.7	▲ 23.3	▲ 43.3	▲ 56.0	▲ 46.7	▲ 36.7
備前(30)	▲ 40.0	▲ 31.0	▲ 36.7	▲ 26.7	▲ 13.3	▲ 31.0	▲ 30.0	▲ 23.3	▲ 30.0
高梁(25)	▲ 53.8	▲ 40.7	▲ 30.4	▲ 14.8	▲ 18.5	▲ 22.7	▲ 8.0	4.2	▲ 8.3
総社(29)	▲ 24.0	▲ 16.0	▲ 33.3	▲ 29.2	▲ 16.7	▲ 20.8	▲ 3.7	▲ 10.7	10.7
新見(29)	▲ 48.3	▲ 40.0	▲ 31.0	▲ 40.0	▲ 33.3	▲ 27.6	▲ 37.9	▲ 17.2	▲ 13.8



2. 生産額・売上額

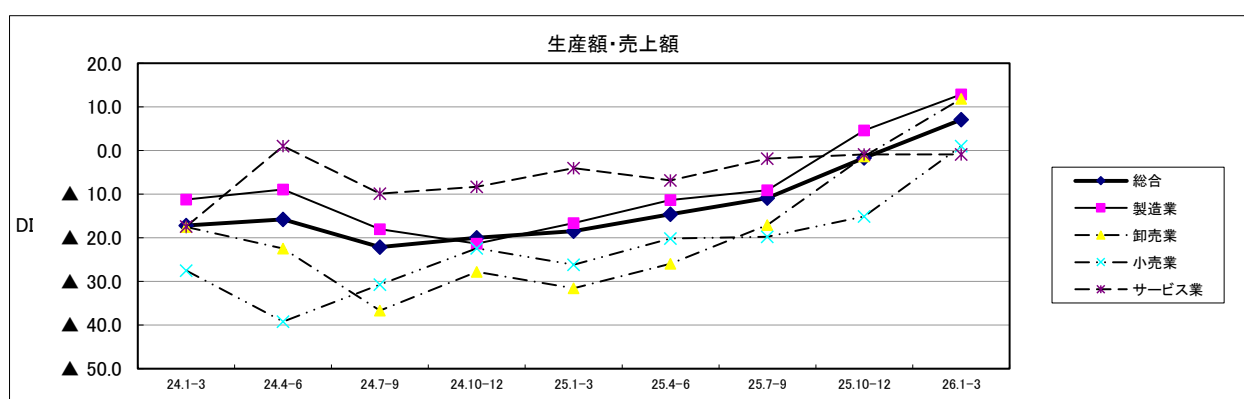
(1) 全体

総合D I（増加－減少）は7. 1と1 0～1 2月期に比べ8. 8ポイント改善しマイナスからプラスへ転換した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大、卸売業、小売業でマイナスからプラスへ転換、サービス業でマイナスで横ばいであった。

平成2 6年4～6月期の先行き見通し総合D Iは▲2 6. 7（前回4. 4）となり、プラスからマイナスへ転換する見通し。

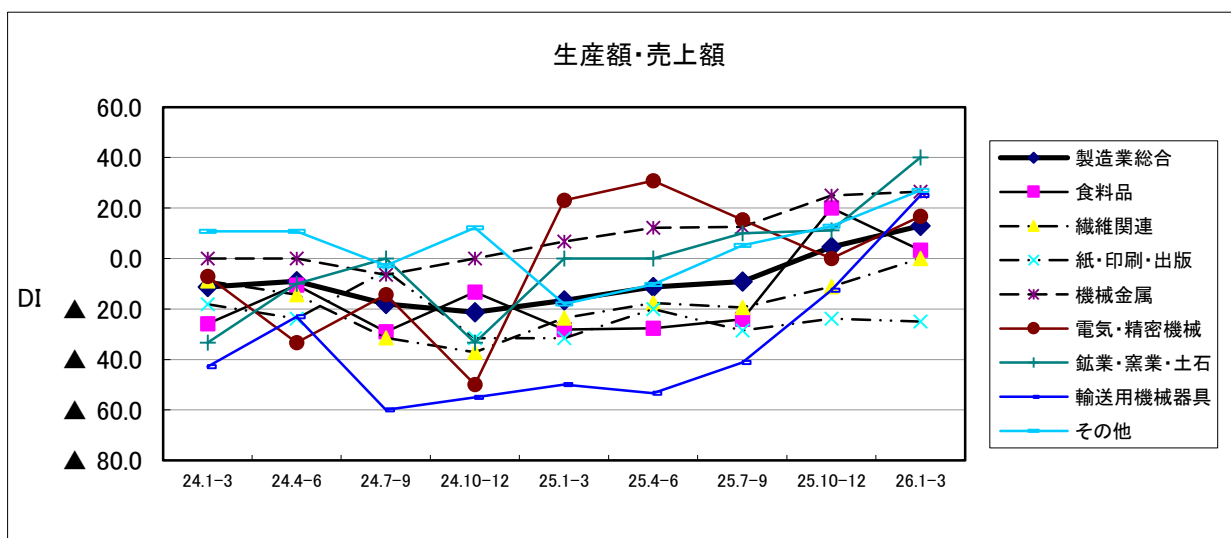
生産額・売上額	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲ 17.2	▲ 15.8	▲ 22.2	▲ 20.0	▲ 18.5	▲ 14.6	▲ 10.9	▲ 1.7	7.1
製造業	▲ 11.2	▲ 9.0	▲ 18.0	▲ 21.4	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.1	4.6	12.9
卸売業	▲ 17.6	▲ 22.5	▲ 36.7	▲ 27.8	▲ 31.6	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 1.3	11.8
小売業	▲ 27.5	▲ 39.3	▲ 30.8	▲ 22.4	▲ 26.2	▲ 20.2	▲ 19.8	▲ 15.2	1.0
サービス業	▲ 17.4	1.0	▲ 9.9	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 6.9	▲ 1.9	▲ 0.9	▲ 0.9



(2) 製造業の内訳

機械金属、鉱業・窯業・土石、その他ではプラス幅が拡大、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換した。しかし、食料品ではプラス幅が縮小、紙・印刷・出版ではマイナス幅が拡大した。

生産額・売上額	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 11.2	▲ 9.0	▲ 18.0	▲ 21.4	▲ 16.7	▲ 11.3	▲ 9.1	4.6	12.9
食料品	▲ 25.8	▲ 10.5	▲ 29.0	▲ 13.3	▲ 28.1	▲ 27.6	▲ 24.1	20.0	3.3
繊維関連	▲ 8.8	▲ 14.3	▲ 31.4	▲ 37.1	▲ 23.5	▲ 17.6	▲ 19.4	▲ 11.1	0.0
紙・印刷・出版	▲ 18.2	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 31.6	▲ 31.6	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 23.8	▲ 25.0
機械金属	0.0	0.0	▲ 6.5	0.0	6.7	12.1	12.5	25.0	26.5
電気・精密機械	▲ 7.1	▲ 33.3	▲ 14.3	▲ 50.0	23.1	30.8	15.4	0.0	16.7
鉱業・窯業・土石	▲ 33.3	▲ 10.0	0.0	▲ 33.3	0.0	0.0	10.0	11.1	40.0
輸送用機械器具	▲ 42.9	▲ 23.1	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 50.0	▲ 53.3	▲ 41.2	▲ 12.5	25.0
その他	10.8	10.8	▲ 2.8	12.1	▲ 17.9	▲ 10.3	5.1	12.8	27.0



3. 受注額

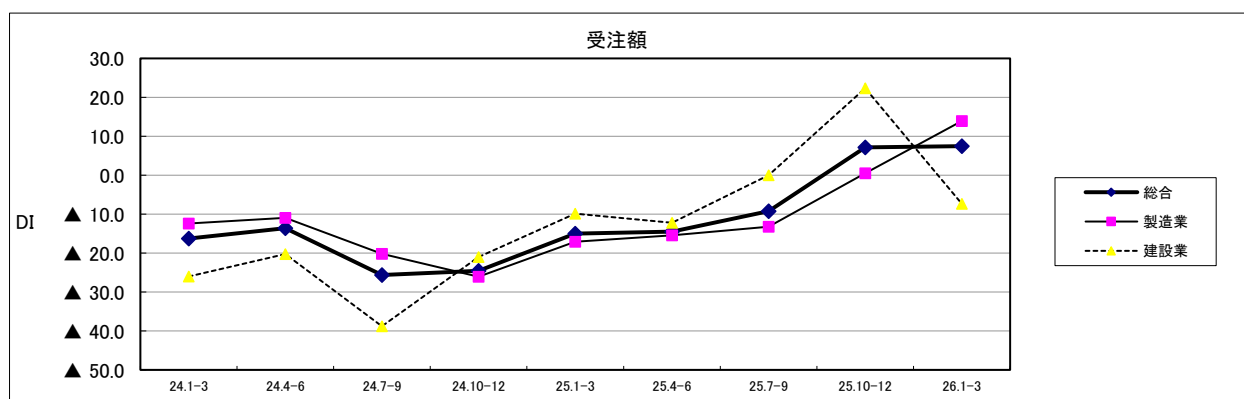
(1) 全体

総合DI（増加－減少）は7.5と10～12月期に比べ0.4ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業でプラス幅が拡大した。しかし、建設業でプラスからマイナスへ転換した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲15.9（前回5.1）となり、プラスからマイナスへ転換する見通し。

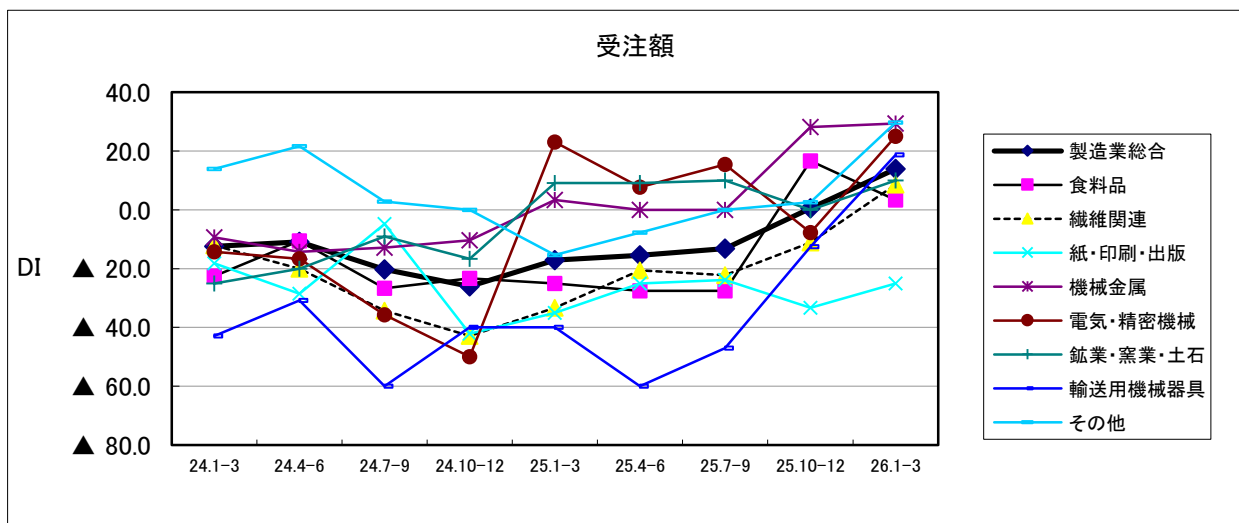
受注額	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲ 16.2	▲ 13.6	▲ 25.6	▲ 24.5	▲ 15.0	▲ 14.5	▲ 9.3	7.1	7.5
製造業	▲ 12.4	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5	13.9
建設業	▲ 26.0	▲ 20.3	▲ 38.8	▲ 21.0	▲ 9.9	▲ 12.2	0.0	22.4	▲ 7.3



(2) 製造業の内訳

機械金属、その他ではプラス幅が拡大、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、繊維関連、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品ではプラス幅が縮小した。

受注額	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 12.4	▲ 10.9	▲ 20.2	▲ 26.0	▲ 17.1	▲ 15.5	▲ 13.2	0.5	13.9
食料品	▲ 22.6	▲ 10.5	▲ 26.7	▲ 23.3	▲ 25.0	▲ 27.6	▲ 27.6	16.7	3.3
繊維関連	▲ 12.1	▲ 20.0	▲ 34.3	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 20.6	▲ 22.2	▲ 11.1	8.6
紙・印刷・出版	▲ 18.2	▲ 28.6	▲ 4.8	▲ 42.1	▲ 35.0	▲ 25.0	▲ 23.8	▲ 33.3	▲ 25.0
機械金属	▲ 9.4	▲ 14.3	▲ 12.9	▲ 10.3	3.3	0.0	0.0	28.1	29.4
電気・精密機械	▲ 14.3	▲ 16.7	▲ 35.7	▲ 50.0	23.1	7.7	15.4	▲ 7.7	25.0
鉱業・窯業・土石	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 9.1	▲ 16.7	9.1	9.1	10.0	0.0	10.0
輸送用機械器具	▲ 42.9	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 40.0	▲ 40.0	▲ 60.0	▲ 47.1	▲ 12.5	18.8
その他	13.9	21.6	2.8	0.0	▲ 15.4	▲ 7.7	0.0	2.6	29.7



4. 原材料・商品仕入価格

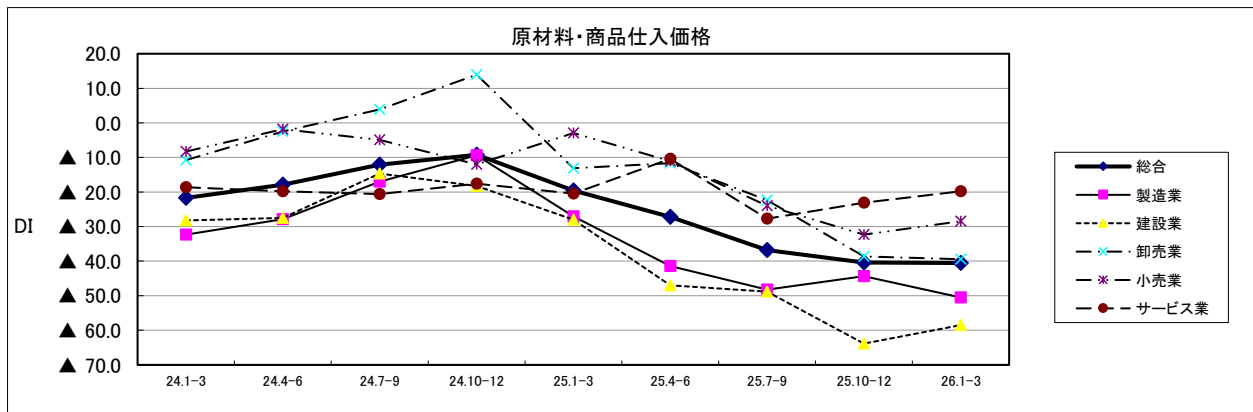
(1) 全体

総合DI（下降→上昇）は▲40.6と10～12月期に比べ0.2ポイントマイナス幅が拡大した。

業種別では、建設業、小売業、サービス業でマイナス幅が縮小した。しかし、製造業、卸売業ではマイナス幅が拡大した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲41.0（前回▲34.0）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

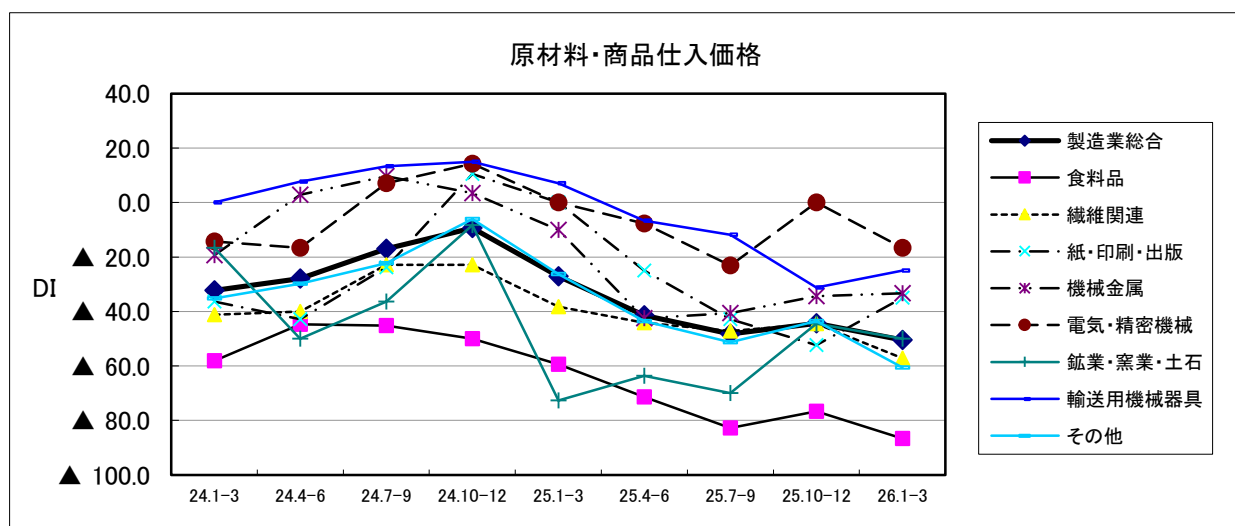
原材料・商品仕入価格	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲21.7	▲17.9	▲12.1	▲9.2	▲19.6	▲27.2	▲36.8	▲40.4	▲40.6
製造業	▲32.3	▲27.9	▲17.0	▲9.4	▲27.1	▲41.5	▲48.2	▲44.4	▲50.5
建設業	▲28.2	▲27.5	▲14.6	▲18.3	▲28.0	▲47.0	▲48.8	▲63.9	▲58.5
卸売業	▲10.8	▲2.5	3.8	13.9	▲13.2	▲11.7	▲22.4	▲38.7	▲39.5
小売業	▲8.3	▲1.9	▲4.9	▲12.0	▲2.9	▲11.1	▲24.0	▲32.3	▲28.4
サービス業	▲18.6	▲19.8	▲20.6	▲17.6	▲20.4	▲10.4	▲27.7	▲23.1	▲19.8



(2) 製造業の内訳

紙・印刷・出版、機械金属、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、電気・精密機械ではプラスマイナスゼロからマイナスへ転換、食料品、繊維関連、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅を拡大させた。

原材料・商品仕入価格	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 32.3	▲ 27.9	▲ 17.0	▲ 9.4	▲ 27.1	▲ 41.5	▲ 48.2	▲ 44.4	▲ 50.5
食料品	▲ 58.1	▲ 44.7	▲ 45.2	▲ 50.0	▲ 59.4	▲ 71.4	▲ 82.8	▲ 76.7	▲ 86.7
繊維関連	▲ 41.2	▲ 40.0	▲ 22.9	▲ 22.9	▲ 38.2	▲ 44.1	▲ 47.2	▲ 44.4	▲ 57.1
紙・印刷・出版	▲ 36.4	▲ 42.9	▲ 23.8	10.5	0.0	▲ 25.0	▲ 42.9	▲ 52.4	▲ 35.0
機械金属	▲ 19.4	2.9	9.7	3.4	▲ 10.0	▲ 42.4	▲ 40.6	▲ 34.4	▲ 33.3
電気・精密機械	▲ 14.3	▲ 16.7	7.1	14.3	0.0	▲ 7.7	▲ 23.1	0.0	▲ 16.7
鉱業・窯業・土石	▲ 16.7	▲ 50.0	▲ 36.4	▲ 8.3	▲ 72.7	▲ 63.6	▲ 70.0	▲ 44.4	▲ 50.0
輸送用機械器具	0.0	7.7	13.3	15.0	7.1	▲ 6.7	▲ 11.8	▲ 31.3	▲ 25.0
その他	▲ 35.1	▲ 29.7	▲ 22.2	▲ 6.1	▲ 26.3	▲ 43.6	▲ 51.3	▲ 43.6	▲ 60.5



5. 製品・商品販売価格

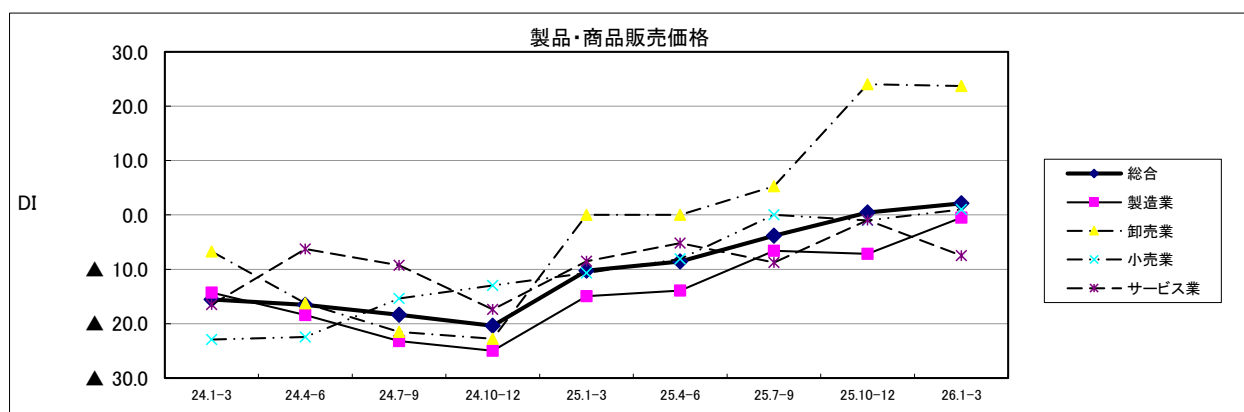
(1) 全体

総合DI（上昇＝下降）は2.1と10～12月期に比べ1.7ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、小売業でマイナスからプラスへ転換、製造業でマイナス幅が縮小した。しかし、卸売業でプラス幅が縮小、サービス業でマイナス幅が拡大した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは7.4（前回0.2）となり、プラス幅が拡大する見通し。

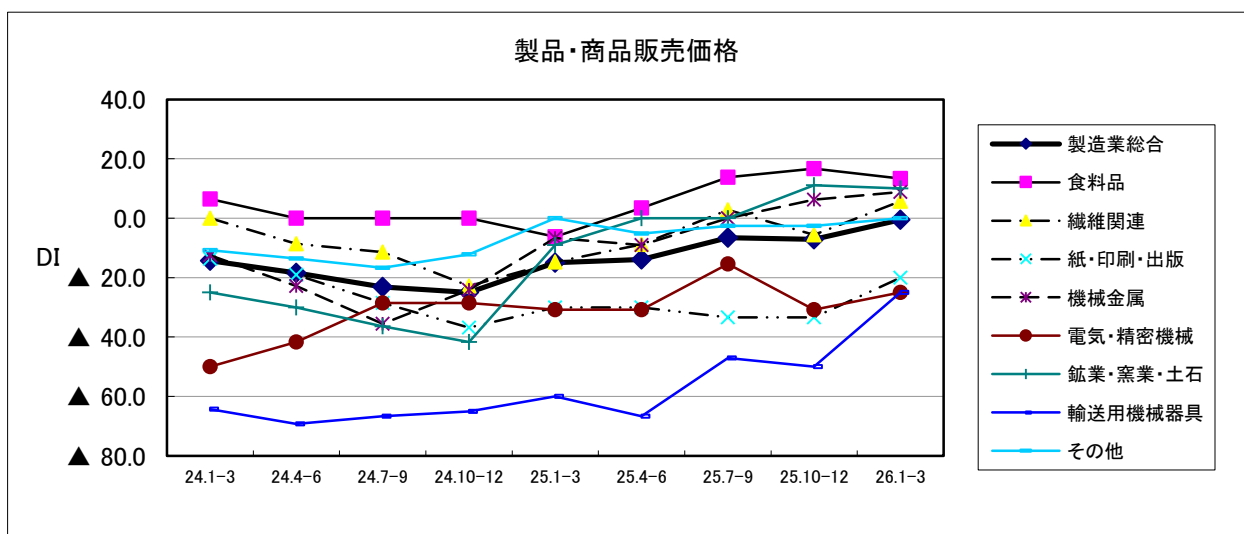
製品・商品販売価格	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲ 15.6	▲ 16.5	▲ 18.4	▲ 20.4	▲ 10.3	▲ 8.6	▲ 3.8	0.4	2.1
製造業	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 0.5
卸売業	▲ 6.8	▲ 16.3	▲ 21.5	▲ 22.8	0.0	0.0	5.3	24.0	23.7
小売業	▲ 22.9	▲ 22.4	▲ 15.4	▲ 13.0	▲ 10.7	▲ 8.1	0.0	▲ 1.0	1.0
サービス業	▲ 16.5	▲ 6.3	▲ 9.3	▲ 17.4	▲ 8.5	▲ 5.2	▲ 8.7	▲ 1.0	▲ 7.5



(2) 製造業の内訳

機械金属ではプラス幅が拡大、繊維関連ではマイナスからプラスへ転換、その他ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、紙・印刷・出版、電気・精密機械、輸送用機械器具ではマイナス幅が縮小した。しかし、食料品、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が縮小した。

製品・商品販売価格	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 14.3	▲ 18.4	▲ 23.2	▲ 25.0	▲ 14.9	▲ 13.9	▲ 6.6	▲ 7.1	▲ 0.5
食料品	6.5	0.0	0.0	0.0	▲ 6.3	3.4	13.8	16.7	13.3
繊維関連	0.0	▲ 8.6	▲ 11.4	▲ 22.9	▲ 14.7	▲ 8.8	2.8	▲ 5.6	5.7
紙・印刷・出版	▲ 13.6	▲ 19.0	▲ 28.6	▲ 36.8	▲ 30.0	▲ 30.0	▲ 33.3	▲ 33.3	▲ 20.0
機械金属	▲ 12.5	▲ 22.9	▲ 35.5	▲ 24.1	▲ 6.7	▲ 9.1	0.0	6.3	8.8
電気・精密機械	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 30.8	▲ 30.8	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 25.0
鉱業・窯業・土石	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 36.4	▲ 41.7	▲ 9.1	0.0	0.0	11.1	10.0
輸送用機械器具	▲ 64.3	▲ 69.2	▲ 66.7	▲ 65.0	▲ 60.0	▲ 66.7	▲ 47.1	▲ 50.0	▲ 25.0
その他	▲ 10.8	▲ 13.5	▲ 16.7	▲ 12.1	0.0	▲ 5.1	▲ 2.6	▲ 2.6	0.0



6. 製品在庫・商品在庫

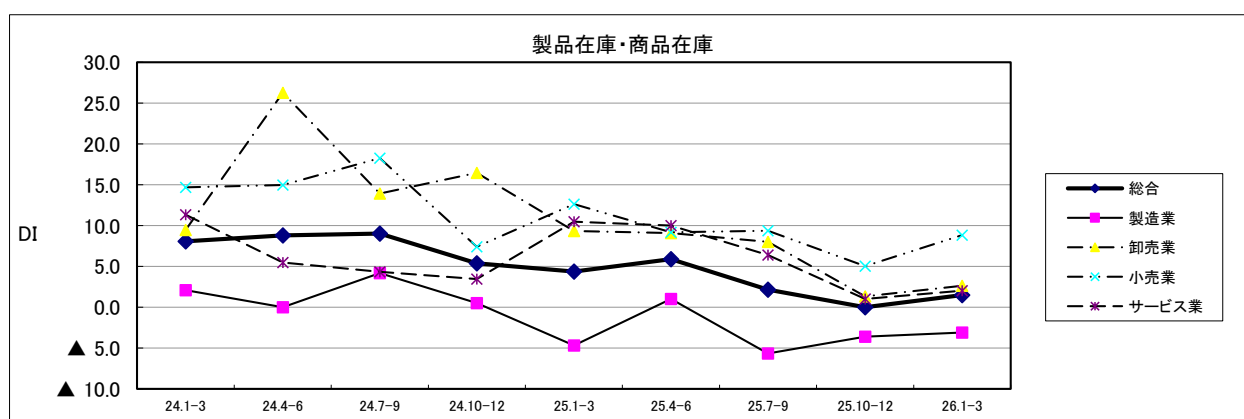
(1) 全体

総合D I（減少－増加）は1. 5と10～12月期に比べ1. 5ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、卸売業、小売業、サービス業でプラス幅が拡大し、製造業でマイナス幅が縮小した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合D Iは7. 1（前回3. 2）となり、プラス幅が拡大する見通し。

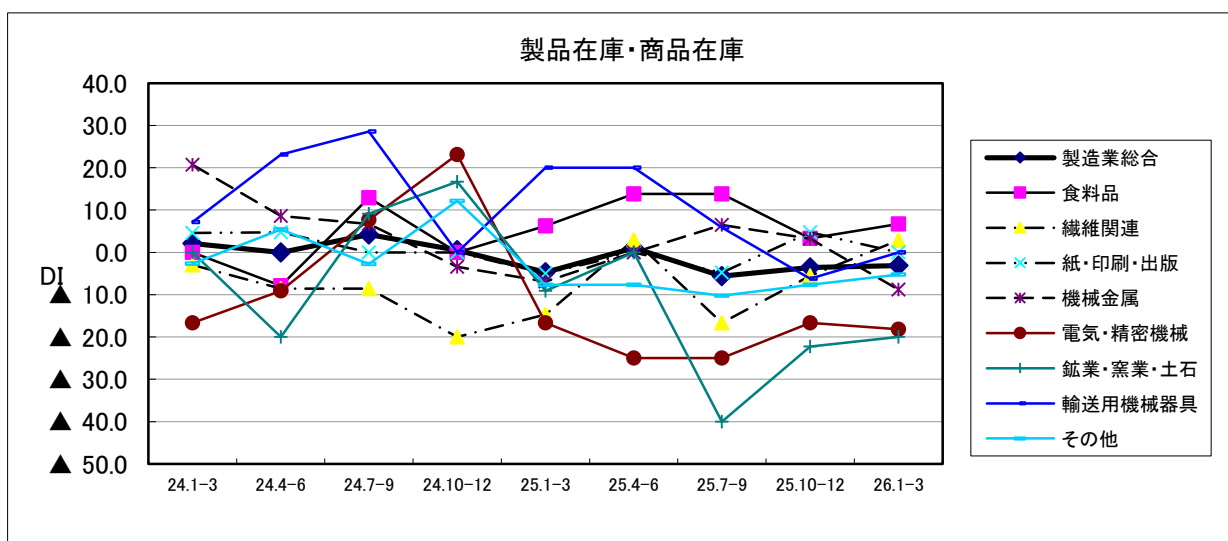
製品在庫・商品在庫	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	8.1	8.8	9.0	5.4	4.4	5.9	2.2	0.0	1.5
製造業	2.1	0.0	4.2	0.5	▲4.7	1.0	▲5.6	▲3.6	▲3.1
卸売業	9.5	26.3	13.9	16.5	9.3	9.1	8.0	1.3	2.6
小売業	14.7	15.0	18.3	7.4	12.6	9.2	9.4	5.1	8.8
サービス業	11.3	5.5	4.3	3.4	10.5	10.0	6.4	1.0	2.0



(2) 製造業の内訳

食料品ではプラス幅が拡大、繊維関連ではマイナスからプラスへ転換、輸送用機械器具ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、鉱業・窯業・土石、その他ではマイナス幅が縮小した。しかし、紙・印刷・出版ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、機械金属ではプラスからマイナスへ転換、電気・精密機械ではマイナス幅が拡大した。

製品在庫・商品在庫	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	2.1	0.0	4.2	0.5	▲ 4.7	1.0	▲ 5.6	▲ 3.6	▲ 3.1
食料品	0.0	▲ 7.9	12.9	0.0	6.3	13.8	13.8	3.3	6.7
繊維関連	▲ 2.9	▲ 8.6	▲ 8.6	▲ 20.0	▲ 14.7	2.9	▲ 16.7	▲ 5.6	2.9
紙・印刷・出版	4.5	4.8	0.0	0.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.8	4.8	0.0
機械金属	20.7	8.6	6.7	▲ 3.4	▲ 6.9	0.0	6.5	3.2	▲ 8.8
電気・精密機械	▲ 16.7	▲ 9.1	7.7	23.1	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 16.7	▲ 18.2
鉱業・窯業・土石	0.0	▲ 20.0	9.1	16.7	▲ 9.1	0.0	▲ 40.0	▲ 22.2	▲ 20.0
輸送用機械器具	7.1	23.1	28.6	0.0	20.0	20.0	5.9	▲ 6.3	0.0
その他	▲ 2.7	5.4	▲ 2.8	12.1	▲ 7.7	▲ 7.7	▲ 10.3	▲ 7.7	▲ 5.3



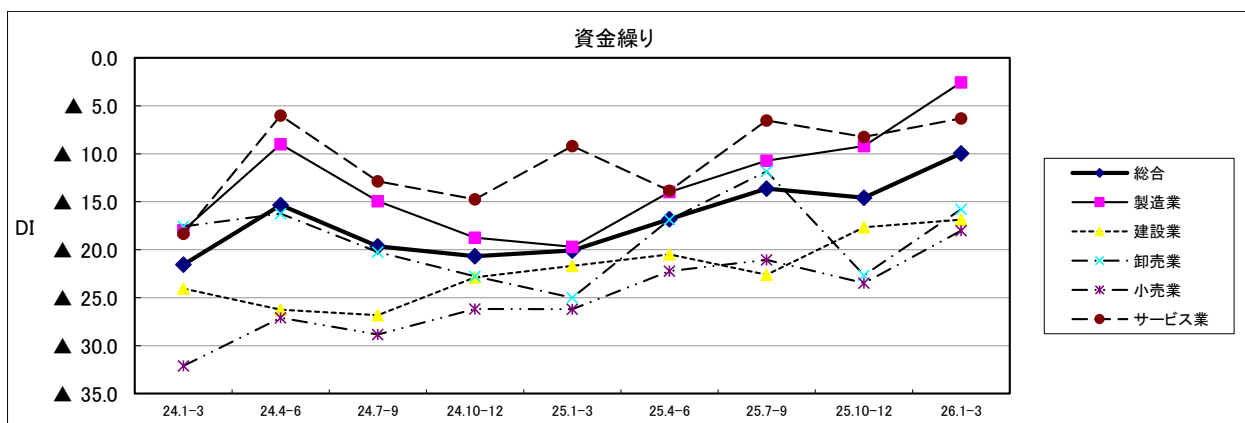
7. 資金繰り

(1) 全体

総合D I (好転-悪化) は▲9. 9と10～12月期に比べ4. 7ポイントマイナス幅が縮小した。
業種別では、全業種でマイナス幅が縮小した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合D Iは▲18. 4(前回▲12. 3)となり、マイナス幅が拡大する見通し。

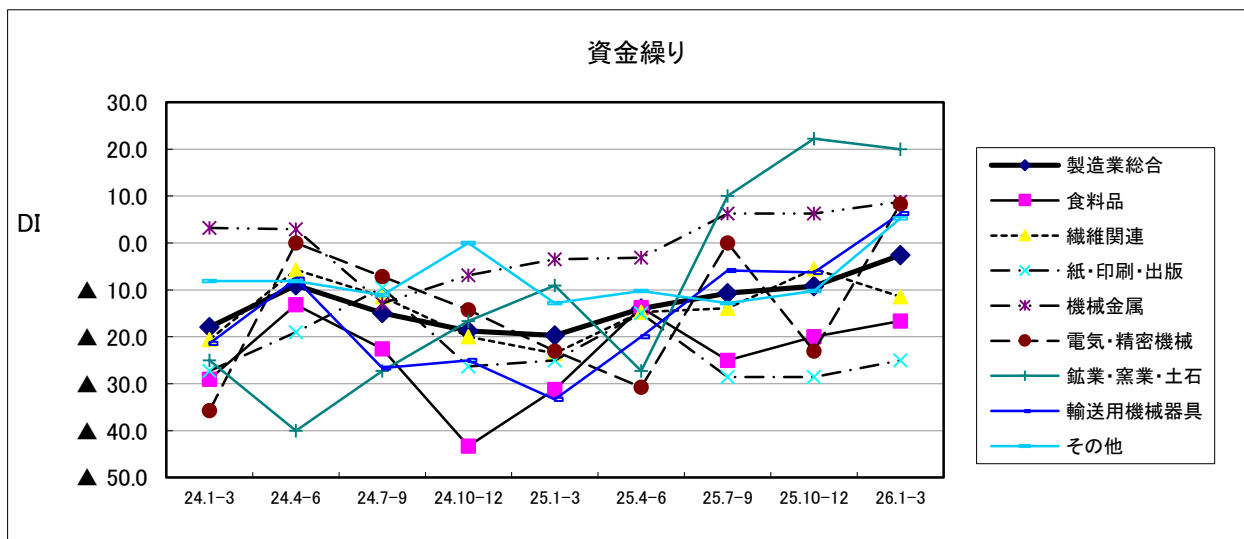
資金繰り	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲ 21.6	▲ 15.3	▲ 19.6	▲ 20.7	▲ 20.1	▲ 16.8	▲ 13.6	▲ 14.6	▲ 9.9
製造業	▲ 17.9	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2	▲ 2.6
建設業	▲ 24.1	▲ 26.3	▲ 26.8	▲ 22.9	▲ 21.7	▲ 20.5	▲ 22.6	▲ 17.6	▲ 16.9
卸売業	▲ 17.6	▲ 16.3	▲ 20.3	▲ 22.8	▲ 25.0	▲ 16.9	▲ 11.8	▲ 22.7	▲ 15.8
小売業	▲ 32.1	▲ 27.1	▲ 28.8	▲ 26.2	▲ 26.2	▲ 22.2	▲ 21.1	▲ 23.5	▲ 18.0
サービス業	▲ 18.3	▲ 6.0	▲ 12.9	▲ 14.7	▲ 9.2	▲ 13.9	▲ 6.5	▲ 8.3	▲ 6.3



(2) 製造業の内訳

機械金属ではプラス幅が拡大、電気・精密機械、輸送用機械器具、その他ではマイナスからプラスへ転換、食料品、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小した。しかし、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が縮小、繊維関連ではマイナス幅が拡大した。

資金繰り	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 17.9	▲ 9.0	▲ 14.9	▲ 18.8	▲ 19.7	▲ 14.0	▲ 10.7	▲ 9.2	▲ 2.6
食料品	▲ 29.0	▲ 13.2	▲ 22.6	▲ 43.3	▲ 31.3	▲ 13.8	▲ 25.0	▲ 20.0	▲ 16.7
繊維関連	▲ 20.6	▲ 5.7	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 23.5	▲ 14.7	▲ 13.9	▲ 5.6	▲ 11.4
紙・印刷・出版	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 9.5	▲ 26.3	▲ 25.0	▲ 15.0	▲ 28.6	▲ 28.6	▲ 25.0
機械金属	3.2	2.9	▲ 12.9	▲ 6.9	▲ 3.4	▲ 3.1	6.3	6.3	8.8
電気・精密機械	▲ 35.7	0.0	▲ 7.1	▲ 14.3	▲ 23.1	▲ 30.8	0.0	▲ 23.1	8.3
鉱業・窯業・土石	▲ 25.0	▲ 40.0	▲ 27.3	▲ 16.7	▲ 9.1	▲ 27.3	10.0	22.2	20.0
輸送用機械器具	▲ 21.4	▲ 7.7	▲ 26.7	▲ 25.0	▲ 33.3	▲ 20.0	▲ 5.9	▲ 6.3	6.3
その他	▲ 8.1	▲ 8.1	▲ 11.1	0.0	▲ 12.8	▲ 10.3	▲ 12.8	▲ 10.3	5.3



8. 採算（収益）

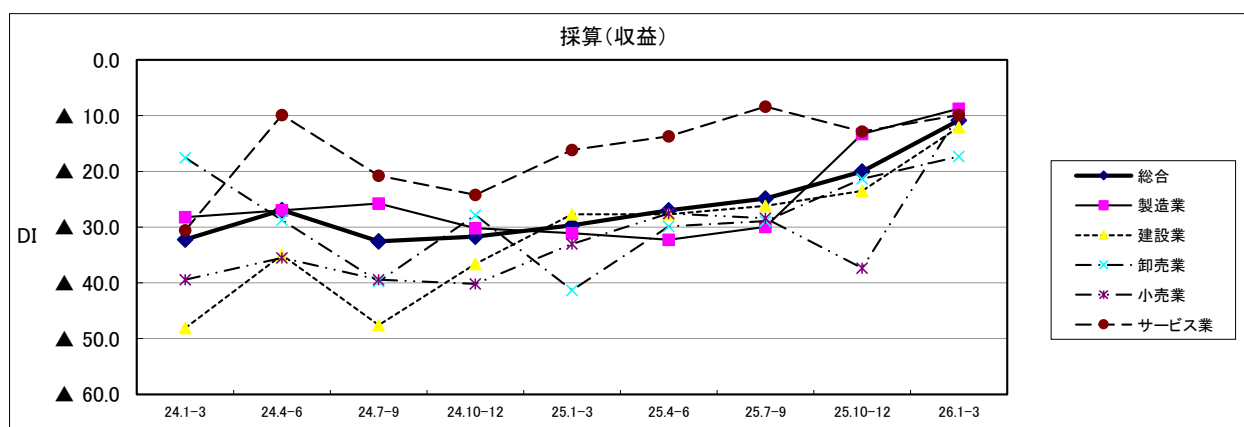
(1) 全体

総合DI（好転—悪化）は▲10.8と10～12月期に比べ9.2ポイントマイナス幅が縮小した。

業種別では、全業種でマイナス幅が縮小した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは▲33.0（前回▲14.7）となり、マイナス幅が拡大する見通し。

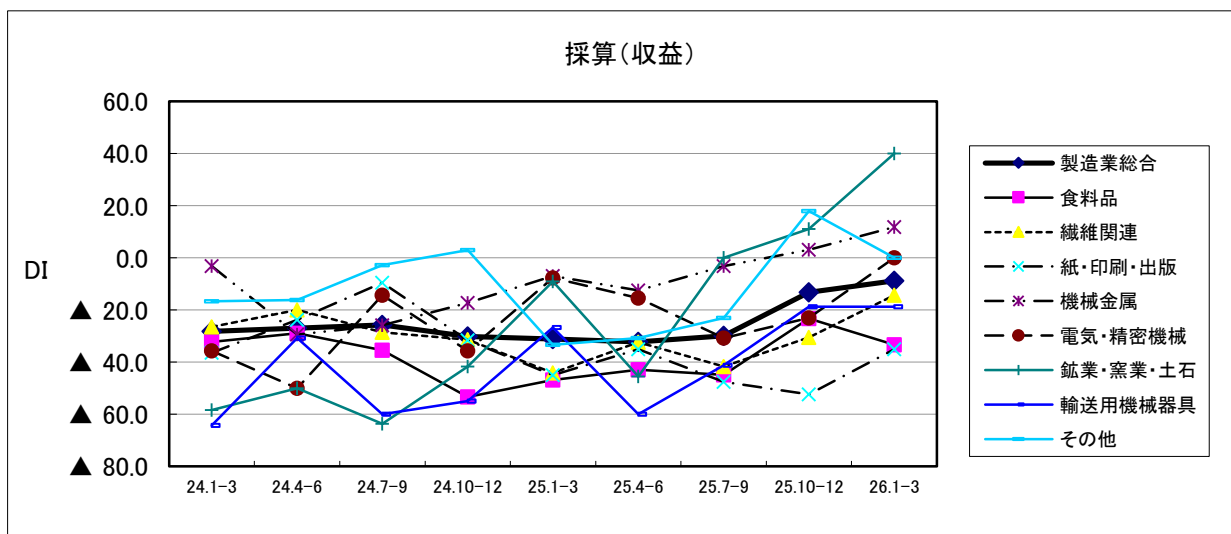
採算(収益)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	▲ 32.2	▲ 26.9	▲ 32.6	▲ 31.7	▲ 29.7	▲ 27.0	▲ 24.9	▲ 20.0	▲ 10.8
製造業	▲ 28.2	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 30.2	▲ 31.1	▲ 32.3	▲ 29.9	▲ 13.3	▲ 8.8
建設業	▲ 48.1	▲ 35.0	▲ 47.6	▲ 36.6	▲ 27.7	▲ 27.7	▲ 26.2	▲ 23.5	▲ 12.0
卸売業	▲ 17.6	▲ 28.8	▲ 39.7	▲ 27.8	▲ 41.3	▲ 29.9	▲ 28.9	▲ 21.3	▲ 17.3
小売業	▲ 39.4	▲ 35.5	▲ 39.4	▲ 40.2	▲ 33.0	▲ 27.6	▲ 28.4	▲ 37.4	▲ 9.9
サービス業	▲ 30.6	▲ 9.9	▲ 20.8	▲ 24.2	▲ 16.2	▲ 13.7	▲ 8.4	▲ 12.8	▲ 9.9



(2) 製造業の内訳

機械金属、鉱業・窯業・土石ではプラス幅が拡大、電気・精密機械ではマイナスからプラスマイナスゼロへ転換、繊維関連、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小、輸送用機械器具ではマイナスで横ばいであった。しかし、その他ではプラスからプラスマイナスゼロへ転換、食料品ではマイナス幅が拡大した。

採算(収益)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 28.2	▲ 27.0	▲ 25.8	▲ 30.2	▲ 31.1	▲ 32.3	▲ 29.9	▲ 13.3	▲ 8.8
食料品	▲ 32.3	▲ 28.9	▲ 35.5	▲ 53.3	▲ 46.9	▲ 42.9	▲ 44.8	▲ 23.3	▲ 33.3
繊維関連	▲ 26.5	▲ 20.0	▲ 28.6	▲ 31.4	▲ 44.1	▲ 32.4	▲ 41.7	▲ 30.6	▲ 14.3
紙・印刷・出版	▲ 36.4	▲ 23.8	▲ 9.5	▲ 31.6	▲ 45.0	▲ 35.0	▲ 47.6	▲ 52.4	▲ 35.0
機械金属	▲ 3.1	▲ 29.4	▲ 25.8	▲ 17.2	▲ 6.9	▲ 12.5	▲ 3.1	3.1	11.8
電気・精密機械	▲ 35.7	▲ 50.0	▲ 14.3	▲ 35.7	▲ 7.7	▲ 15.4	▲ 30.8	▲ 23.1	0.0
鉱業・窯業・土石	▲ 58.3	▲ 50.0	▲ 63.6	▲ 41.7	▲ 9.1	▲ 45.5	0.0	11.1	40.0
輸送用機械器具	▲ 64.3	▲ 30.8	▲ 60.0	▲ 55.0	▲ 26.7	▲ 60.0	▲ 41.2	▲ 18.8	▲ 18.8
その他	▲ 16.7	▲ 16.2	▲ 2.8	3.0	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 23.1	17.9	0.0



9. 従業員数（常用）

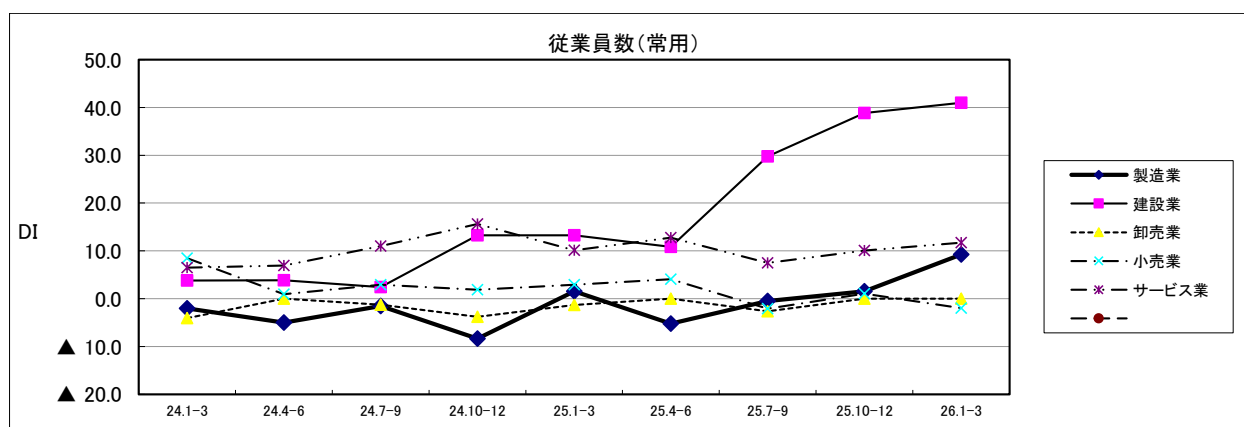
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は11.2と10～12月期に比べ2.7ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、建設業、サービス業でプラス幅が拡大、卸売業でプラスマイナスゼロで横ばいであった。しかし、小売業でプラスからマイナスへ転換した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは3.6（前回6.8）となり、プラス幅が縮小する見通し。

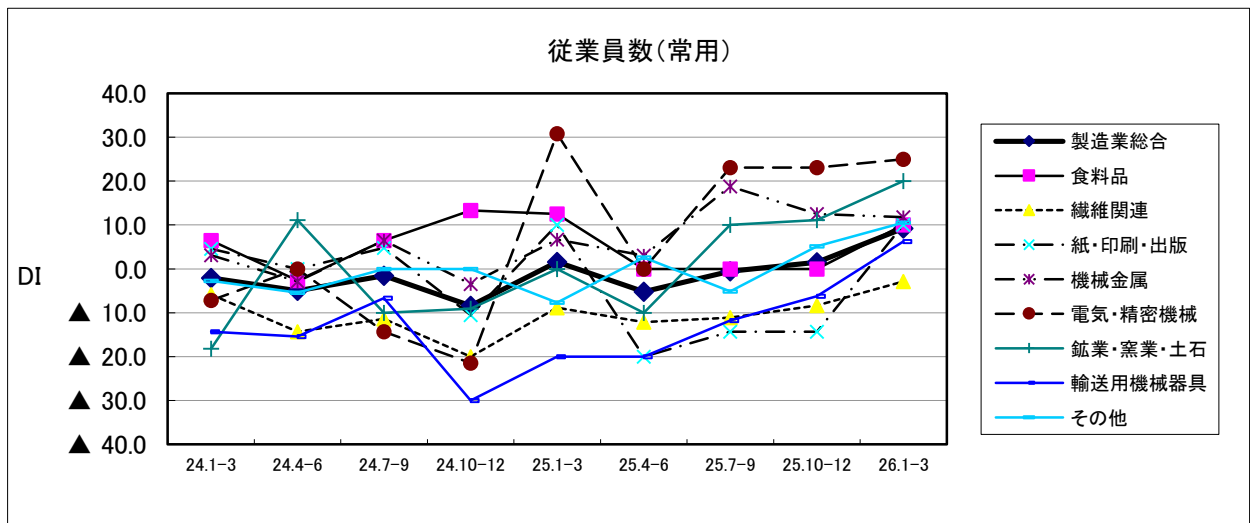
従業員数(常用)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	2.1	0.2	2.2	1.6	4.7	2.9	5.0	8.5	11.2
製造業	▲ 2.1	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5	9.2
建設業	3.8	3.8	2.4	13.3	13.3	10.8	29.8	38.8	41.0
卸売業	▲ 4.1	0.0	▲ 1.3	▲ 3.8	▲ 1.3	0.0	▲ 2.6	0.0	0.0
小売業	8.5	0.9	2.9	1.9	2.9	4.1	▲ 2.1	1.0	▲ 2.0
サービス業	6.5	6.9	11.0	15.6	10.1	12.7	7.5	10.1	11.7



(2) 製造業の内訳

電気・精密機械、鉱業・窯業・土石、その他ではプラス幅が拡大、食料品ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、紙・印刷・出版、輸送用機械器具ではマイナスからプラスへ転換、繊維関連ではマイナス幅が縮小した。しかし、機械金属ではプラス幅が縮小した。

従業員数(常用)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	▲ 2.1	▲ 5.0	▲ 1.6	▲ 8.4	1.6	▲ 5.2	▲ 0.5	1.5	9.2
食料品	6.5	▲ 2.6	6.5	13.3	12.5	0.0	0.0	0.0	10.0
繊維関連	▲ 5.9	▲ 14.3	▲ 11.4	▲ 20.0	▲ 8.8	▲ 12.1	▲ 11.1	▲ 8.3	▲ 2.9
紙・印刷・出版	4.5	0.0	4.8	▲ 10.5	10.0	▲ 20.0	▲ 14.3	▲ 14.3	10.0
機械金属	3.1	▲ 2.9	6.5	▲ 3.4	6.7	3.0	18.8	12.5	11.8
電気・精密機械	▲ 7.1	0.0	▲ 14.3	▲ 21.4	30.8	0.0	23.1	23.1	25.0
鉱業・窯業・土石	▲ 18.2	11.1	▲ 10.0	▲ 9.1	0.0	▲ 10.0	10.0	11.1	20.0
輸送用機械器具	▲ 14.3	▲ 15.4	▲ 6.7	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 20.0	▲ 11.8	▲ 6.3	6.3
その他	▲ 2.7	▲ 5.4	0.0	0.0	▲ 7.7	2.6	▲ 5.1	5.1	10.5



10. 従業員数（臨時）

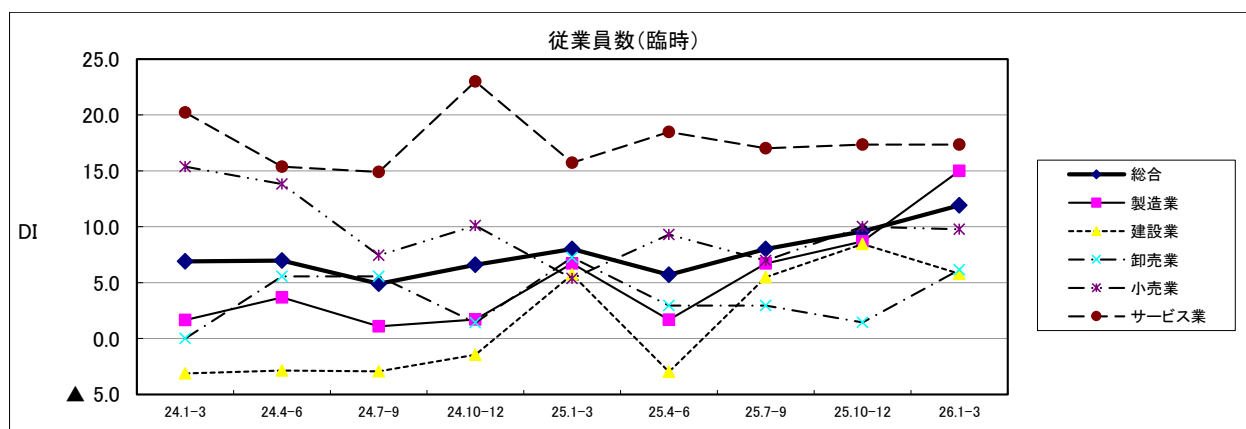
(1) 全体

総合DI（不足－過剰）は11.9と10～12月期に比べ2.3ポイントプラス幅が拡大した。

業種別では、製造業、卸売業でプラス幅が拡大、サービス業でプラスで横ばいであった。しかし、建設業、小売業ではプラス幅が縮小した。

平成26年4～6月期の先行き見通し総合DIは8.5（前回9.9）となり、プラス幅が縮小する見通し。

従業員数(臨時)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
総合	6.9	7.0	4.9	6.6	8.0	5.7	8.0	9.6	11.9
製造業	1.7	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7	15.0
建設業	▲ 3.1	▲ 2.9	▲ 2.9	▲ 1.4	5.7	▲ 3.0	5.5	8.5	5.8
卸売業	0.0	5.6	5.6	1.4	7.2	2.9	2.9	1.4	6.2
小売業	15.4	13.8	7.4	10.1	5.4	9.3	7.0	10.0	9.8
サービス業	20.2	15.4	14.9	23.0	15.7	18.5	17.0	17.3	17.3



(2) 製造業の内訳

食料品、繊維関連、電気・精密機械、その他ではプラス幅を拡大、輸送用機械器具ではプラスマイナスゼロからプラスへ転換、紙・印刷・出版ではマイナス幅が縮小、機械金属ではプラスで横ばい、鉱業・窯業・土石ではプラスマイナスゼロで横ばいであった。

従業員数(臨時)	24.1-3	24.4-6	24.7-9	24.10-12	25.1-3	25.4-6	25.7-9	25.10-12	26.1-3
製造業総合	1.7	3.7	1.1	1.7	6.7	1.7	6.7	8.7	15.0
食料品	6.7	5.3	3.2	10.3	6.5	3.6	0.0	10.0	16.7
繊維関連	18.8	6.3	3.1	3.2	9.4	12.9	3.0	17.6	21.9
紙・印刷・出版	0.0	10.0	0.0	▲ 11.8	12.5	▲ 17.6	▲ 5.6	▲ 11.1	▲ 5.9
機械金属	▲ 6.7	0.0	▲ 6.7	4.2	7.1	3.3	19.2	17.9	17.9
電気・精密機械	▲ 7.7	0.0	0.0	7.7	25.0	18.2	30.8	25.0	33.3
鉱業・窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
輸送用機械器具	▲ 7.7	▲ 7.7	6.7	▲ 15.0	▲ 6.7	▲ 13.3	▲ 6.3	0.0	26.7
その他	▲ 2.9	5.7	2.9	6.5	2.8	0.0	11.1	2.6	8.3

